

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	檜原弘樹	法人・事業所の特徴	坂井市の北部ののどかな田園地域に立地しており、同敷地内に通所介護・認知症対応型通所介護・認知症対応型共同生活介護を併設しています。 県民せいきょうの理念「あなたらしきいつまでも」を念頭に置き、事業所独自として「えがお」という理念を掲げています。利用者だけでなく、家族、もちろん職員も笑顔でいられたらいいねという思いです。坂井きらめきでは、通いサービスが中心ですが、訪問を頻回に行う事で一人暮らしの方のサポートをしたり、宿泊を組み入れることで家族の介護負担を軽減できる様に心がけています。地域とのつながりを大切に、気軽に困りごとを相談しに来て頂けるような事業所を目指します。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能型ホーム 坂井きらめきハウス	管理者	長谷川典子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	園芸活動が利用者の日課となりやりに繋がるように継続していきます。「～したい」の聞き取りについては、昨年度うまく活用出来なかった「～したい聞き取りボード」を見直し、毎月の振り返りを行いながら実践につなげていきます。	園芸活動は日課として定着し、苗を買いに出かけたり、水やり、収穫など、ご利用者の役割や楽しみに繋がっています。又、坂井きらめき全体の取り組みとして「ガーデンクラブ」が発足。他部署のご利用者との交流の場となっています。 「聞き取りボード」に掲示し実現できたものもありましたが、定期的な振り返りができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に「ガーデニングクラブ」の発足で、ご利用者のやりに繋がるところになるよう願っています。 ・膨大な業務の中「～したい」の実践への取り組みには頭が下がります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸活動を始めとして、ご利用者それぞれの得意とする事や生活歴などを活かし、「～したい。」を支援していきます。 ・聞き取りボードの振り返りを月初めのスケジュールに組み込み、実現への話し合いを行っていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	ご家族参加型のイベントを恒例行事として開催し、ご家族との交流の場を設け、いつでも相談できる関係作りに努めます。 SNS担当職員を配置し、出来ることから取り組んでいきます。	ご家族参加型のイベントは、11月に開催した「ミニ運動会」のみでしたが、日頃の送迎時などで対面できる機会にご家族の思いなど聞き取り、サービスに反映できるよう努めました。 SNS配信については、定期配信が実行できていない状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が参加できるイベントを設けている点が良いと思いました。 ・ご利用者が散歩をしている所をあまり見かけません。散歩など日常の様子を地域の人が見かけるようになれば、坂井きらめきのことを知って頂けるのではないのでしょうか。 ・SNSについては、職員の無理のないように取り組んで頂けたらと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会については、家族へのアンケート調査を行い思いや希望を聞き取った上で家族会の内容を決定し実施します。 ・ご利用者の気分転換なども兼ねて、散歩やガーデニングに取り組み、その様子を地域の方にも知って頂けたらと思います。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>引き続きサロンやサークルに出向き、地域の方の健康維持に繋がるように努めます。 事業所と地域の方が、お互いに気軽に行き来しやすい関係性を築き、地域の困りごとを気兼ねなく相談して頂けるような施設を目指します。</p>	<p>地域のサロンなどには、職員が交代で参加することが定着し、介護予防体操など行っています。 地域の方がボランティアで訪れ、紙芝居やバルーンアートを披露してくださいました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンに参加し、地域に密着した事業所を目指している点が良いと思いました。 ・地域の女性が坂井きらめきの中はどうなっているのか気にはなっているが、施設には入りづらいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が地域に出向いての活動の継続と共に、地域の方に坂井きらめきがどのような施設なのかを知って頂けるよう、区長さんにもご協力をお願いし見学会を開催します。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>認知症の方が安心して在宅生活を継続出来るよう、要望に応じて認知症サポーター養成講座を開催するなど、地域の方に認知症についての理解を深めて頂けるよう働きかけを行っていきます。</p>	<p>地域の小学校に出向き、認知症サポーター養成講座を開催し、身近な事例を交えながら認知症について分かりやすく学んで頂きました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で講座を開き、認知症への学びに貢献している点が良いと思いました。 ・民生委員もメンバーが変わりますので、定期的に養成講座を開催して頂きたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して認知症サポーター養成講座を開催していきます。 ・前年度に養成講座で学んでくれた子供さんに、実際の認知症の方への対応を学ぶステップアップとして実践式の講習会を開催します。 ・送迎時などご本人の地域の方に挨拶をして、何かあった時には報告・相談して頂けるような関係性を築いていきます。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議の年間計画をたて、施設見学の機会を設けます。その際に頂いた感想やご意見を運営に活かしサービスの向上に努めていきます。</p>	<p>会議の年間計画として、12月、2月の2回に分けて見学をして頂きながら、それぞれのサービス内容の違いなどを説明していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学を通じて実際の介護の現場を見ることができ、良い経験になりました。 ・外部評価のアンケートの前に、施設見学ができれば、もっと具体的に回答出来ると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で頂いた貴重なご意見を運営に活かしていきます。 又、地域の困り事などもお聞きし、地域の一員としてのお役立ちに努めます。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>いざという時、地域の方にもご協力を頂けるよう、応援要請の訓練などもしていきます。 防災・災害に加え、防犯訓練にも取り組みます。</p>	<p>訓練では、緊急連絡の手順の中に応援要請も取り入れて、地域の方のご協力を頂きました。 机上訓練を行い、災害時の避難手順など職員間で確認しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも訓練を継続して行ってください。 ・できる事は協力させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や災害が発生した際にも最小限の被害にとどめサービス提供を継続できるように定期的に訓練を実施していきます。

